

2003年7月2日

報道各位

新日鉱ホールディングス株式会社
日 鉱 金 属 株 式 会 社

日鉱金属(株)における金属加工事業の分社について
金属加工新会社は新日鉱グループの中核事業会社に

新日鉱グループの日鉱金属株式会社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:大木和雄、以下「日鉱金属」という。)は、本年10月1日をもって金属加工事業を分割し、同事業を承継する新会社「日鉱金属加工株式会社」(以下「日鉱加工」という。)を設立することといたしました。

この会社分割により、日鉱加工は、新日鉱ホールディングス株式会社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:清水康行)の全額出資による新日鉱グループの中核事業会社となります。

日鉱金属は、世界有数のコスト競争力と生産性をベースに内外企業とのアライアンスを推進する資源・金属事業と、高機能・高付加価値化を追求しつつ中国市場での事業基盤拡充を図る金属加工事業を中核としております。

資源・金属事業および金属加工事業は、いずれもグローバルな事業展開を図っておりますが、その事業特性と競争環境は異なっており、今後、世界の競合他社との競争に勝ち抜いていくためには、従来以上に事業毎の専門性、集中度を高め、より柔軟で機動的な運営を行うとともに、収益責任を明確にする体制を構築する必要があります。

こうした観点から、今般、日鉱金属は金属加工事業を分割し、新会社・日鉱加工に同事業を独立運営させることにより、一段の競争力強化を期すことといたしました。

また、金属加工事業分割後の日鉱金属は、資源・金属事業専業会社(資源開発、銅事業、亜鉛事業等)となります。

本年10月1日以降の日鉱加工および日鉱金属の概要は別紙のとおりであります。

今般の日鉱加工の設立に伴い、新日鉱グループの中核事業は、石油(ジャパンエナジーグループ)、資源・金属(日鉱金属グループ)、金属加工(日鉱金属加工グループ)および電子材料(日鉱マテリアルズグループ)の4社体制に再編されます。今後、これら中核事業会社は、各事業特性に応じた独自の戦略に基づき、より効率的な運営を図り、収益性を一段と高めてまいります。

以上

お問い合わせ先:新日鉱ホールディングス株式会社 IR・広報担当
八牧・山本・高元・花島 TEL. 03-5573-5123
日鉱金属株式会社 広報担当
永津・檜崎 TEL. 03-5573-7267

別紙

1 日鉱金属加工株式会社の概要(2003年10月1日現在(予定))

- (1) 商号 : 日鉱金属加工株式会社
(英文名 : Nikko Metal Manufacturing Co.,Ltd)
- (2) 本店所在地 : 神奈川県高座郡寒川町倉見(現日鉱金属(株)倉見工場内)
- (3) 資本金 : 80億円(新日鉱ホールディングス(株)全額出資)
- (4) 代表者 : 代表取締役社長 足立 吉正
- (5) 従業員数 : 約530名
- (6) 連結売上高の規模 : 約450億円
(承継する主要な関係会社 : 富士電子工業(株)、宇進精密工業(株)、
ニッポン・プレジジョン・テクノロジー(マレーシア))
- (7) 主要事業 : 金属加工事業、精密加工事業
- (8) 主要事業所・支店等 : 倉見工場、大阪支店、名古屋支店

2 日鉱金属株式会社の概要(2003年10月1日現在(予定))

- (1) 商号 : 日鉱金属株式会社
(英文名 : Nippon Mining & Metals Co.,Ltd)
- (2) 本店所在地 : 東京都港区虎ノ門二丁目
- (3) 資本金 : 270億円(新日鉱ホールディングス(株)全額出資)
- (4) 代表者 : 代表取締役社長 大木和雄
- (5) 従業員数 : 約900名
- (6) 連結売上高の規模 : 約3,000億円
- (7) 主要事業 : 資源開発、銅事業、亜鉛事業等
- (8) 主要事業所・支店等 : 日立工場、佐賀製錬所、大阪支社、名古屋支店、
上海事務所、チリ事務所、オーストラリア事務所

(参考) 新日鉱グループの組織図 (2003年10月1日現在(予定))

